

横浜地区連絡協議会 第5回幹事会

2017年8月19日（土）、かながわ労働プラザにて2016年度横浜地区連絡協議会第5回幹事会を開催しました。総勢21名が出席し、冒頭に高橋議長より挨拶を頂き、前回幹事会以降の経過報告がされました。

協議事項としては①2016年度一年間の総括、②時間外労働の上限規制の適用を求める運輸労連請願署名の取り組みについて、③2017年度役員構想について協議し、役員・幹事にて確認をしました。

最後に横浜市旭区選出の小粥市議より、横浜市長選挙の裏話やカジノに対する林市長の姿勢についてお話しを頂きました。カジノについてはギャンブル依存症や治安問題などから大多数の市民が反対の声を上げているなかで、経済界はカジノに対し前向きな姿勢であります。林市長は明確な考えを示されていませんが、小粥市議からは基本的には反対の考えであると聞き一安心しました。

また宇井県連副委員長から横浜市公立中学校の完全給食は実現出来ないのかという質問があり、小粥市議から「横浜市内には川崎市の倍以上の中学校があり、完全給食を実行するためには初期投資で500億円が掛かること、また毎年の運営費用にも数十億円の経費が必要であり、横浜市としてはハマ弁を今よりも利用し易い形にすることで対応する考え」と回答を頂きました。

2016年度の幹事会は今回が最終回となります。横浜地区連絡協議会の役員・幹事の皆様、一年間ご協力いただき誠に有難うございました。

